

高松市公の施設指定管理者導入施設に対する評価

評価対象期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日

施設名	純愛の聖地庵治・観光交流館		
指定管理者	特定非営利活動法人はじめの一步	施設所管課等	観光交流課
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)	公募・非公募の別	公募
所在地	高松市庵治町5824番地4	業務の概要	施設の維持管理・運営業務 ・写真館(管理棟)カフェコーナー ・物産館(観光案内コーナー、映画写真展示コーナー) ・企画展示コーナー ・駐車場
施設の概要	【施設】 木造2階建及び木造平家建一部中2階 【職員の状況】 パート5名 【開館時間】 9:00～17:00 毎週火曜日は休館		

	項目名	令和元年度	平成30年度	項目名	令和元年度	平成30年度
利用状況等	利用者数	23,034 人	25,409 人			
収支状況等	指定管理料	4,629 千円	4,679 千円	支出実績(総額)	10,528 千円	10,236 千円
	収入実績(売上)	5,474 千円	5,204 千円			

評価基準	評価項目	指定管理者自己評価コメント	所管課等評価
2 住民の平等な利用確保	①管理運営、施設事業との関連性 ②平等な利用の確保	施設の管理運営スタッフはパート雇用で全スタッフが常勤でないことで意思疎通、決定事項の共有等に支障が出ないように、積極的に情報の共有を図っている。スタッフ間のグループラインの活用も始めた。今までどおりの連絡ノートの活用や定期的なミーティングもしている。施設の平等な利用の確保に当たっては、申込順を原則として施設利用申込みに対応している。	B
3 施設の効用の最大限の発揮	①利用促進対策 ②広報・PR対策 ③企画事業・自主事業 ④市・関係団体・地域等との連携 ⑤サービス向上の取組 ⑥相談・苦情への対応	広報やPRは、当館の展示場を使用したグループや個人が他の会場で展示会を開催する場合はできる限り会場に出向き、今後の利用者獲得に努めている。その際、香川県写真家協会の会員や他の文化活動を行っている団体にも協力していただいている。自主事業の、「だるま朝日の昇る街、庵治町写真コンテスト」も6年目を迎え、毎回四国新聞で開催の告知、受賞者の発表を掲載していただいたお陰で、認知度も上がり、賑わいで庵治町の魅力発信に努めることができた。協賛企業も増えた。香川大学経済学部と連携して庵治地区の地域活性化の事業にも参加している。庵治コミュニティ協議会の地域振興会に所属し、企画委員として参加しており高松ファミリー&クォーターマラソンINAJIでは実行委員として準備や当日運営に参加している。また、住民からの相談、苦情の窓口は館長が担当している。休館日や営業時間外でも対応できるよう携帯電話は繋がるようにしている。	A
4 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保	①職員確保計画等 ②教育・研修 ③就業規則等の遵守 ④施設運営の健全性の確保 ⑤損害保険等 ⑥収支計画と執行管理	スタッフの働きやすい環境づくりに気を配っている。子供の急病等、緊急時にもシフト交代等の措置を迅速に対応している。また、勤務時間帯、シフトを随時見直し最適な勤務体制を構築できるよう努力した。人出が足りないときは、ボランティアの方々の協力も得ている。必要な損害保険には加入済みであり、イベント毎にも臨時に加入する等の対応をしている。施設経費の執行については、小口現金を用意することで執行の迅速化を図りながら、レシート等との照合を適時行い厳正に管理している。	B
5 管理に係る経費の縮減	①収入の確保・適正な人件費 ②運営経費の節減対策・コミュニティビジネスの視点 ③経営の効率化 ④合理的な会計制度	ボランティアの方々には、広報活動や買い物など協力していただき人件費の削減に努めている。一方で長年勤務してくれるスタッフは施設の大きな戦力になるので、能力に見合った給与も大切である。来館者は減少したが、売上は昨年度より増えた。今後も収支のバランスを適正に保つよう努力する。会計制度については、諸規則・諸基準に基づき適正に実施しているが、労務管理等を的確にするために有能と判断した会計事務所を会計管理を委託し、毎月会計事務所のスタッフと打合せをし、合理的な仕組みを相談している。	B

総合評価コメント	総合評価
施設の管理条例や各種マニュアルを遵守し、安全管理など施設管理は適切に行われている。また、個人情報保護については、「高松市個人情報保護条例」に基づいて守秘義務の徹底を図っているほか、「高松市環境方針」に基づき、環境配慮活動と経費削減への意識啓発を図っている。また自主的に防災避難訓練を行うなど、一人一人が高い意識を持って危機管理に取り組んでいる。 利用者ニーズの把握も積極的に行い、独自のイベント開催や地域で開催するイベントに参加することで、誘客に取り組んでおり、地域と一体となった運営が行なわれている。メディアやホームページ等で情報発信も積極的に行い、魅力を高めていることは評価できる。 収支決算状況については、昨年に比べ収入が増えており営業努力は見られるが、支出が収入を上回っている。健全な収支状況となるよう、より一層、事業収入の増加及び経費削減に向けて対策を講じてもらいたい。 今後も継続して、各種イベント、新商品の開発を行う等の工夫した施設運営に取り組み、利用客の新規開拓やサービス向上に努力を重ねてもらいたい。	B